



地域インフラ群再生戦略マネジメント 「群マネの手引きVer.1」

付録編

取扱説明書

3. 導入効果試算ツール

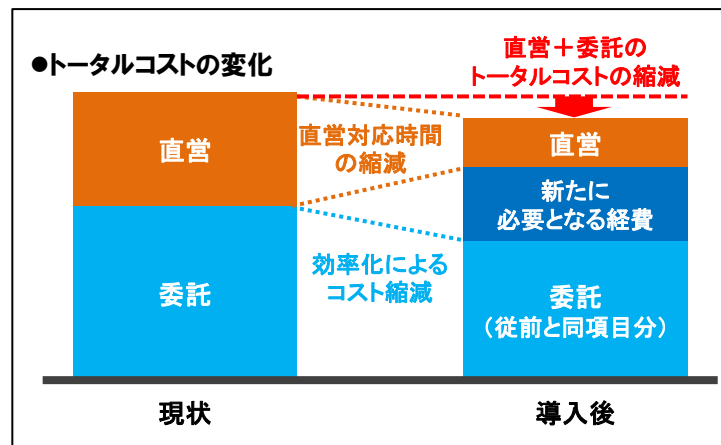
用意するデータ

- ① 委託金額の変化想定
 - 現状の委託金額
 - 束ねた後の委託金額
- ② 直営対応時間の変化想定
 - 現状の直営対応時間
 - 束ねた後の直営対応時間

設定する項目

- 直営対応時間を貨幣換算するための人件費単価

アウトプット



ツールのポイント

★事業導入による直営対応時間の変化(アウトソーシング等による縮減)や委託金額の変化を想定

⇒「直営+委託」のトータルコストの縮減効果や必要となる予算規模を概算で把握します。

※不確定要素が多く、大掴みの概算となることに留意ください。

3. 導入効果試算ツール（全体構成）

Excel【検討支援ツール(現状把握・発注状況把握・効果試算).xlsm】のシート【④導入効果試算(条件指定)】、【⑤導入効果試算】を操作します。



導入効果試算ツールではシート【①現状把握】、【②発注状況把握(入力)】、【③発注状況把握(出力)】の結果を活用します。
入力が完了していない場合は該当のシートに戻り、入力を完了させてください。

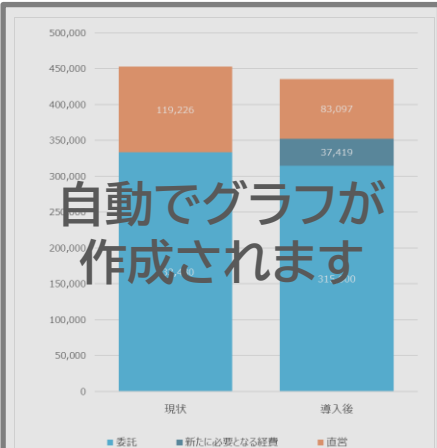


合計 / 契約金額 (百万円)		列ラベル									
行ラベル		窓口業務	巡回	維持作業	計画策定	調査・点検	設計	補修工事	その他	総計	
道路課		入力欄									
河川課											
公園課											
上下水道課											
総計											

	①	②	③	④導入効果試算 (条件指定)	⑤導入効果試算
--	---	---	---	-------------------	---------



<試算条件>			
	入力欄	単位	備考
a 現状の年間直営対応時間	49,440	時間	①現状把握で設定
b 想定する直営対応時間の縮減	入力欄 0,000	時間	
c 束ねた後の年間直営対応時間	39,440	時間	c=a-b
d 1日の標準勤務時間	7.75	時間/日	①現状把握で設定
e 職員の人件費単価	28,000	円/日	
f アウトソーシングの人件費単価	入力欄 29,000	円/日	
<試算結果>			
	金額 (千円)	備考	
C1 現状の直営対応コスト	178,622	C1=a×e÷d	
現状の対象業務の委託金額	333,480		
C2 導入後の直営対応コスト	142,493	C2=c×e÷d	
C3 新たに必要となる経費	37,419	C3=b×f÷d	
対象業務の委託金額 (従前と同項目分)	入力欄 5,000		



①	②	③	④導入効果試算 (条件指定)	⑤導入効果試算
---	---	---	-------------------	---------

3. 導入効果試算ツール（操作説明）

① 事業の対象とする業務を「1」、対象としない業務を「0」と記入します(赤枠)。

合計 / 契約金額（百万円）	列ラベル									
行ラベル	窓口業務	巡回	維持作業	計画策定	調査・点検	設計	補修工事	その他	総計	
道路課										
河川課										
公園課										
上下水道課										
総計										

①	②	③	④導入効果試算 シート(条件指定)	⑤導入効果試算 シート
---	---	---	----------------------	----------------



- ③発注状況把握シート(金額)を参考に事業の対象とする業務を選択しましょう。
- ③発注状況把握シート(金額)の対象がすべての地区となっていることを確認しましょう。

地区

A地域

B地域

C地域

D地域

市内一円

(空白)

合計 / 契約金額（百万円）	列ラベル									
行ラベル	窓口業務	巡回	維持作業	計画策定	調査・点検	設計	補修工事	その他	総計	
道路課	50	40	125	50	19	13	129	21	447	
河川課			19				23		41	
公園課			8		14	3		2	28	
上下水道課			7		1				8	
総計	50	40	160	50	34	16	152	23	524	

①	②	③発注状況把握 シート(出力)	④	⑤
---	---	--------------------	---	---

3. 導入効果試算ツール（操作説明）

- ② シート【⑤導入効果試算】に移動します。
- ③ 【想定する直営対応時間の縮減】、【職員の人件費単価】、【アウトソーシングの人件費単価】、【対象業務の委託金額（従前と同項目分）】を記入します。

< 試算条件 >

	入力欄	単位	備考
a 現状の年間直営対応時間	49,440	時間	①現状把握で設定
b 想定する直営対応時間の縮減	10,000	時間	
c 束ねた後の年間直営対応時間	39,440	時間	$c=a-b$
d 1日の標準勤務時間	7.75	時間/日	①現状把握で設定
e 職員の人件費単価	28,000	円/日	
f アウトソーシングの人件費単価	29,000	円/日	

< 試算結果 >

	金額（千円）	備考
C1 現状の直営対応コスト	178,622	$C1=a \times e \div d$
現状の対象業務の委託金額	333,480	
C2 導入後の直営対応コスト	142,493	$C2=c \times e \div d$
C3 新たに必要となる経費	37,419	$C3=b \times f \div d$
対象業務の委託金額（従前と同項目分）	315,000	

①	②	③	④導入効果試算 シート（条件指定）	⑤導入効果試算 シート
---	---	---	----------------------	----------------



ポイント

想定する直営対応時間の縮減: アウトソーシングを想定する業務の種類(窓口業務や維持作業など)等に応じて設定しましょう。
対象業務の委託金額(従前と同項目分): 束ねる業務の種類や規模等に応じて、適宜、コスト縮減効果等を想定し設定しましょう。

3. 導入効果試算ツール（操作説明）

④ 自動でグラフが作成されます。

●トータルコストの変化

